

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	名古屋テレビ放送株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	愛知県名古屋市中区橘2-10-1
工場等の名称	名古屋テレビ放送株式会社
工場等の所在地	愛知県名古屋市中区橘2-10-1
業種	情報通信業
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	自社ビル等（自ら所有し自ら使用している建築物）
事業の概要	民間テレビ放送業
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年7月27日 ～ 令和5年10月25日		
公表方法	○	揭示 閲覧	（場所） 本社受付にて閲覧可能
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細）
公表に係る問合せ先	052-322-7115		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

名古屋テレビ放送株式会社は、地域に密着したメディアとしての社会的責任を果たすための事業活動を行っています。その活動が、地域の環境ひいては地球の環境にも負担を与えていることを自覚し、その負担軽減を図るとともに、私たちの日々の放送活動を通じて、環境に有益な情報を提供するよう努めます。

1. 私たちは、エコ・コミュニケーターとして、環境に関する情報を社内外に伝えるための努力をします。

2. 自らの活動も環境に負担を与えていることを自覚し、環境に関連する法律等及び当社が同意するその他の環境側面に関連した要求事項の遵守は当然として、環境マネジメントシステムを確立し継続的に改善していきます。

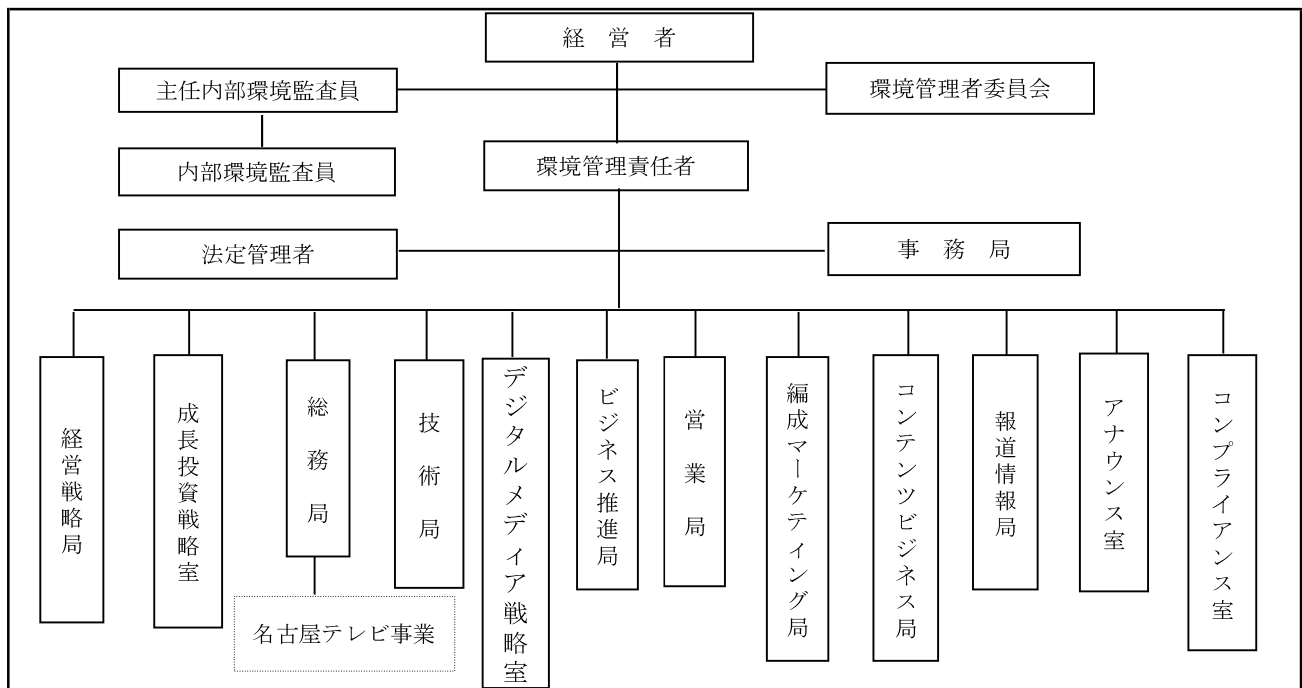
3. 資源の有効活用を図るため、廃棄物の削減、省資源・省エネルギーを推進します。

4. この環境方針は、文書化し、名古屋テレビで働くすべての人々に周知し、継続的な教育を行います。

5. 環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防を推進するため、本環境方針に基づき、環境目的・目標を具体的に定め、定期的な見直しを行います。

6. この環境方針は、当社ホームページ等を通じて社外への公開をします。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,234	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	2,234	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	2,324	t-CO ₂	2,254	t-CO ₂	2,234	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	3.9	%	%	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）					%	%	%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	0.1117	t-CO ₂ / m ²	0.1083	t-CO ₂ / m ²	0.1074	t-CO ₂ / m ²	t-CO ₂ / m ²	t-CO ₂ / m ²
削減率（対 基準年度）			3.0	%	3.8	%	%	%
原単位あたりのみなし排出量						t-CO ₂ / m ²	t-CO ₂ / m ²	t-CO ₂ / m ²
削減率（対 基準年度）					%	%	%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

エアコン更新工事等により省エネとなり、電気使用量が減少した。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源行動の実践・冷暖房	・冷暖房温度を適正化する ・冷暖房時間を短縮する ・空調フィルターの掃除など効率のよい運転のための点検・保守管理を実施する	・冷房28度、暖房22度を徹底 ・廊下など共用部分の空調停止 ・フィルターの効率保守	・クールビズ実施 5月1日～10月31日 ・ウォームビズ実施 11月1日～3月31日 ・フィルターは毎月点検、清掃は適時実施している。
省エネルギー・省資源行動の実践・照明	・昼休みや残業時には不必要な照明を消し、必要な場合にはスポット照明にする ・館内照明のLED化	・昼休み中照明オフの徹底 ・長時間点灯箇所から計画	・照明制御盤のスケジュール機能により、照明オフを実施。 ・24時間点灯箇所などの照明LED化を実施。
省エネルギー・省資源行動の実践・OA機器	・パソコンやコピー機を使用しない時は主電源を切り、待機電力を削減する。 ・パソコンやコピー機を導入するときは、省エネルギー型のものを選ぶ。	・パソコンのこまめな電源オフ ・省エネモードの徹底 ・パソコン省エネタイプの選定	・パソコン使用状況の調査。 ・随時省エネタイプのパソコンに更新している。
廃棄物の排出抑制	・オフィス古紙を分別回収し、リサイクルする。	・リサイクル紙の分別	・ゴミ分別を徹底している。
その他	・雨水の貯水タンクや雨水利用施設の設置などにより、雨水利用を進める。	・トイレの排水など、雨水などの雑用水を使用	・ろ過装置を使用して井水、雨水を雑用水として利用している。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目（令和 4 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・従業員へ環境教育を実施。 ・ゴミ分別を徹底した。 ・環境配慮型製品の選定・購入を実施。
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・空調温度の一元管理を実施している。室温は担当者が巡回調査を実施した。
